**第89回未来構想フォーラムご案内**

**「多文化社会と共生」**

日本の未来を展望する時、2050年までに人口が４千万人減り,９千万人を割ることが危惧されて

います。坂中英徳氏は少なくとも１千万人の移民受け入れは必須と考え,移民国家日本の構想を

提唱しています。（当日参加者先着50名様に坂中氏の最近著(**『日本型移民国家の構想』を進呈**いたします。）また2005（平成17）年末には日本国内の外国人登録者数は,201万人（日本総人口の1.6％）を突破し,国際結婚は17組に1組,東京23区に限れば,実に,10組に1組を占めています。**「国際化,少子化,多文化化の中にあって, 日本の未来構想はどうあるべきか？」**

今回、聴衆を含めてのパネル・ディスカッションで**政策提言**にまで昇華できれば幸いです。お誘い会わせの上、各位の積極的なご参画をお待ち申し上げています。



**と き：7月8日（水）P.M:6：10～9：10**

**ところ：渋谷区勤労福祉会館 ２Ｆ,第1洋室**

**山手線 渋谷駅 徒歩５分,公園通りパルコ前**

参加費：一般3千円、国際家庭（外国人）1.5千円、学生千円

**開会の辞 大脇準一郎 JFFSI 共同代表 　　　　　 PM:6:10-20**

**発題者１：「ビジョン・政策・戦略：戦略学から見える日本の国家政策」**

**奥山 真司 氏　地政学 / 戦略学研究家　　　 　　 PM:6:20-7:15**

**発題者２：「多文化共生社会構築のために：国際社会の子供たちの悩みからの**

**出発」Ｅ.千明 氏 多文化家庭支援センター理事　 PM:7:15-8:00**

**パネル・ディスカッション：「多文化社会構築の戦略」 PM:8:10-9:00**

**コーディネーター：大脇 準一郎　国際企業文化研究所 所長**

**コメント：坂中 英徳 氏 　　移民政策研究所 所長 P:M 8:10-8:30**

**閉会の辞：一色　宏　氏 JFFSI 常任理事　　　　　 　 PM:9:00-9:05**

**主 催：NPO法人 未来構想戦略フォーラム（ＪＦＦＳＩ）**協 賛：地球市民機構

連絡先：Tel & Fax：0422-26-9155　〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1－28－3－209

　　　　E-mail: e.mirai123@gmail.com URL: http://www.miraikoso.org

＊＊＊＊＊＊＊＊＊ **第89回 未来構想フォーラム 参加申込書** ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

氏 名 　勤務先（会社,部署,役職）

Tel＆ Fax　　　　　　　　　　　 　　 携 帯：

e-mail: ご紹介者（媒体）:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 「日本は１９世紀英国の勢力均衡外交で生き残れ！」 | 1972年横浜生まれ。日本の高校を卒業後、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学に入学し、地理学科および哲学科を卒業（ＢＡ）、英国レディング大学で修士号（ＭＡ）を取得。現在同大学院の戦略学科博士号課程に在籍中。現在、米国地政学研究家として、近年はアメリカの保守思想や政治メディア、国際関係論などの解析を手がけている。国際平和協会主任研究員。  著書:『地政学--アメリカの世界戦略地図』（五月書房）  『 大国政治の悲劇─　米中は必ず衝突する！─』 （J. ミアシャイマー著,奥山訳,五月書房）『戦略論の原点』（J.C.ワイリー著,奥山訳,芙蓉書房）ほか | |
| **奥山 真司 氏** | **地政学 / 戦略学研究家** | |
|  | 岩手県、三陸海岸,造船業を営む家に生まれる。成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科ドイツ語科へ進む。米国で結婚。NY、ボストン、LA、シアトルで、カスタムジュエリーバイヤー、アラスカでは、水産会社に勤め、LAへもどり、土産物屋老舗で経理補佐として働く.  1991年、帰国。夫とともに英会話教室を経営しながら、4人の男の子を出産。育児と家事をしながら、PTAや子供会などの地域のボランテイアから始まり、街づくり会議やマスタープランの区構想検討委員など、市民活動を夫とともに精力的に行う。 | | |
| 外国人や外国生活経験者らとホールサムライフを進める会」を立ちあげ、日本人の意識の国際化への活動。2006年星槎大学共生科学科卒。卒論「国際家庭のこどもたちの悩み」は日本の今後の共生社会への重要な提言として、教授達の絶賛を浴びる。軽度発達障害特別支援をきっかけに、川崎市の児童放課後事業で、「障害者対応巡回相談員」,3年目を迎える。2008年8月,首都圏の国際家庭の集り「International Family Association」を母体として、『多文化家庭支援センター』（NPO申請中）を発足させる。**川崎市民活動センター、障害者対応　巡回相談員** | | | | |
| **エインズワース・千明 氏** | | **『多文化家庭支援センター』（NPO申請中）事務局長**  **英会話教室「ホワイトハウスイングリッシュ」代表** | | |
| **坂中英徳 氏**  **『日本型移民国家の構想』** | | 1945年5月生まれ,1970年3月、慶応義塾大学大学院法学研究科修士課程終了, 同年4月法務省入省。入国在留課長,名古屋入国管理局長,東京入国管理局長を歴任。  2005年3月退官,同年8月外国人政策研究所を設立。法務省時代から現在まで、在日韓国・朝鮮人の法的地位問題など一貫して在日外国人問題、外国人政策と折り組み、そのキャリアは35年に及ぶ。その経験と見識に基づき、今後50年間に1千万人の移民を受け入れる「日本型移民国家構想」を提唱している。  著書:『在日韓国・朝鮮人政策論の展開』『日本の外国人政策の構想』『入管戦記』「今後の出入国管理行政のあり方について」ほか | | |
| **移民政策外国人政策研究所所長,**  **脱北帰国者支援機構代表、人道移民センター長** | | |